

公1、収1「公園施設等の管理運営事業（貸館事業）」

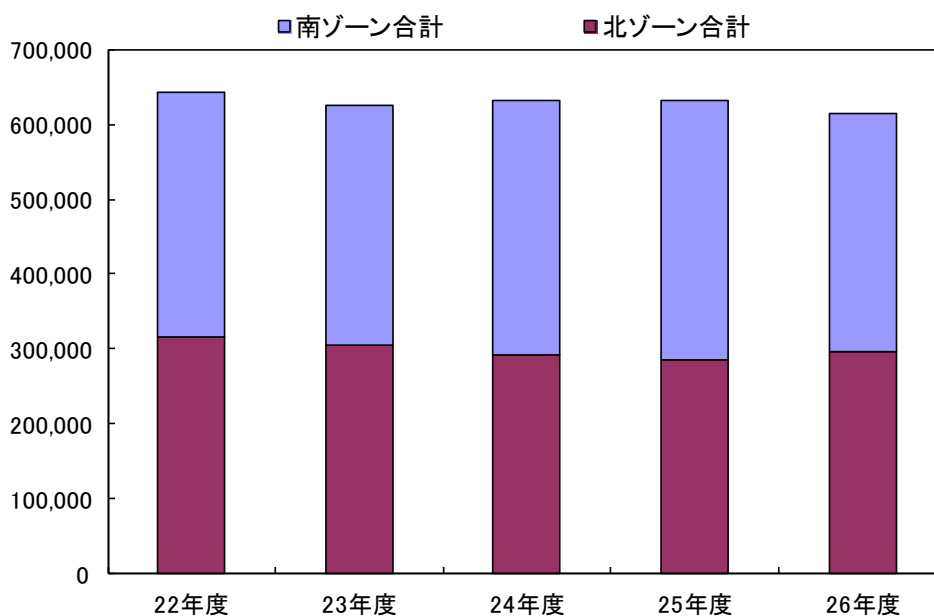
利用者数

平成26年度、宗像ユリックス総合公園の総利用者数は、616,126人（前年度比97.3%）となり、前年度と比較して17,262人の減少であった。内訳は以下のとおりである。

北側施設（北ゾーン）は、一般施設242,299人（同103.0%）、プラネタリウム30,345人（同104.6%）、テニスコート22,431人（同107.5%）となり、北ゾーン全体では296,910人（同103.7%）と10,708人の増加となった。心配された4月からの施設利用料金値上げの影響による利用者数の減少はなく、全ての施設で増加している。

一方、南側施設（南ゾーン）では、アクアドーム利用者数は200,266人（同99.3%）、パットゴルフ5,062人（同106.8%）、ゆ〜ゆ〜プール41,430人（同74.7%）、芝生広場等72,458人（同85.0%）となり、南ゾーン全体では319,216人（同91.9%）と27,970人の減少となった。

また、ゆ〜ゆ〜プール利用者は天候不順から過去10年で最高だった前年度から大きく減少（14,047人）した。



（単位：人）

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
本館（図書館を除く）	292,567	281,624	269,020	264,383	272,869
テニスコート	24,196	23,542	23,417	20,875	22,431
プラネ（野外）	1,026	923	1,473	944	1,610
北ゾーン合計	317,789	306,089	293,910	286,202	296,910
アクアドーム	189,953	201,388	203,798	201,712	200,266
パットゴルフ	5,733	5,578	5,487	4,738	5,062
ゆ〜ゆ〜プール	52,165	50,855	54,772	55,477	41,430
芝生広場等	78,845	63,054	74,395	85,259	72,458
南ゾーン合計	326,696	320,875	338,452	347,186	319,216
利用者数合計	644,485	626,964	632,362	633,388	616,126
対前年比	102.6%	97.3%	100.9%	100.2%	97.3%
図書館	286,052	307,057	278,006	254,387	235,496
利用者数合計（図書館を含む）	930,537	934,021	910,368	887,775	851,622

施設の利用率¹

■ 3大施設の利用率

ユリックス本館の施設利用率についてみると、3大施設（イベントホール、ハーモニーホール、展示室）については、右表のようになっている。

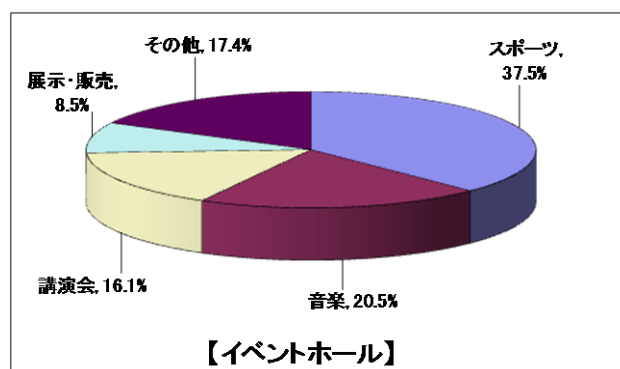
	25年度	26年度	前年度比
イベントホール	84.1%	75.3%	-8.8%
ハーモニーホール	78.9%	79.8%	+0.9%
展示室	78.5%	66.3%	-12.2%

施設利用の内容

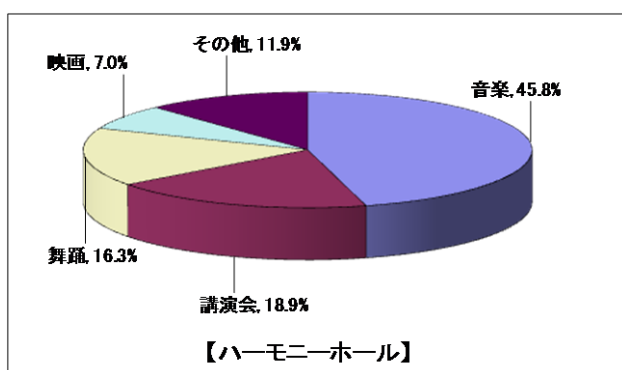
本館3大施設の利用内容別に集計すると次のとおりとなる。

イベントホールは、総件数が224件で前年度に比べ51件減少した。

利用内訳は、スポーツ 37.5%、音楽 20.5%、講演会 16.1%、展示・販売 8.5%、その他 17.4%となっている。前年度と比較して、スポーツ、音楽、講演会など全体的に減少しているが、特に音楽での利用が、25件減少している。



イベントホール	スポーツ	音楽	講演会	展示・販売	その他	計
利用件数	84	46	36	19	39	224
利用割合	37.5%	20.5%	16.1%	8.5%	17.4%	100.0%



ハーモニーホールは、総件数227件で前年度に比べ9件減少した。

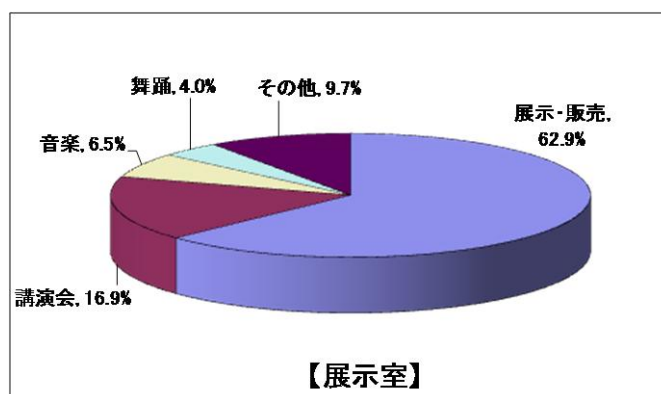
利用内訳は音楽 45.8%、講演会 18.9%、舞踊 16.3%、映画 7.0%、その他 11.9%となっている。

前年度と比較して、講演会、舞踊の利用が増加しているが、音楽、その他の利用が減少している。

ハーモニーホール	音楽	講演会	舞踊	映画	その他	計
利用件数	104	43	37	16	27	227
利用割合	45.8%	18.9%	16.3%	7.0%	11.9%	100.0%

¹ 利用率は、開館日のうち貸出3区分（午前：9時～12時、午後：13時～17時、夜間：18時～22時）のいずれかに利用が入っている場合を100%として算出。

展示室は、利用件数が 248 件で前年度に比べ 44 件減少した。利用内訳は展示・販売 62.9%、講演会 16.9%、音楽 6.5%、舞踊 4.0%、その他 9.7%となっている。前年度と比較して、講演会、舞踊が増加し、展示・販売、音楽の利用が減少した。



展示室	展示・販売	講演会	音楽	舞踊	その他	計
利用件数	156	42	16	10	24	248
利用割合	62.9%	16.9%	6.5%	4.0%	9.7%	100.0%

その他、会議室、和室等の貸出施設については、本館内に事務所を持つ宗像文化サークルの講座に多く利用されたほか、会社の面接会場、会議、研修や自主サークル団体の活動の場として利用された。

その他の取り組み・施策

顧客のニーズに対応するための「夜間有料学習室」、舞台の空き区分を活用した「舞台上で気軽にピアノレッスン」などのサービスアップに取り組んでいる。

●夜間有料学習室

個人の勉強の場として、17:30 から 21:30 の時間帯で、1 席 100 円（7 月から 9 月、12 月から 3 月は空調代を含んで 200 円）で貸し出した。年間利用者数は 2,133 人で、前年度と比較して 579 人減少した。売上は 328 千円となった。

<月別利用者数>

(単位：人)

月度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
利用者数	164	195	219	205	221	154
月度	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用者数	221	183	149	170	156	96

●舞台上で気軽にピアノレッスン

ハーモニーホールの舞台上でコンサートピアノを使った練習が 1 時間 3,000 円という料金でできるという企画である。平成 26 年度は年間 14 日間、153 利用枠に対し 77 利用枠の実績である。利用率が 50.3%(前年 48.3%)と増加した。平成 23 年 2 月からスタインウェイ製ピアノも対象としたことやメルマガ配信を行なっている。

公 1、収 1「公園施設等の管理運営事業（施設管理）」

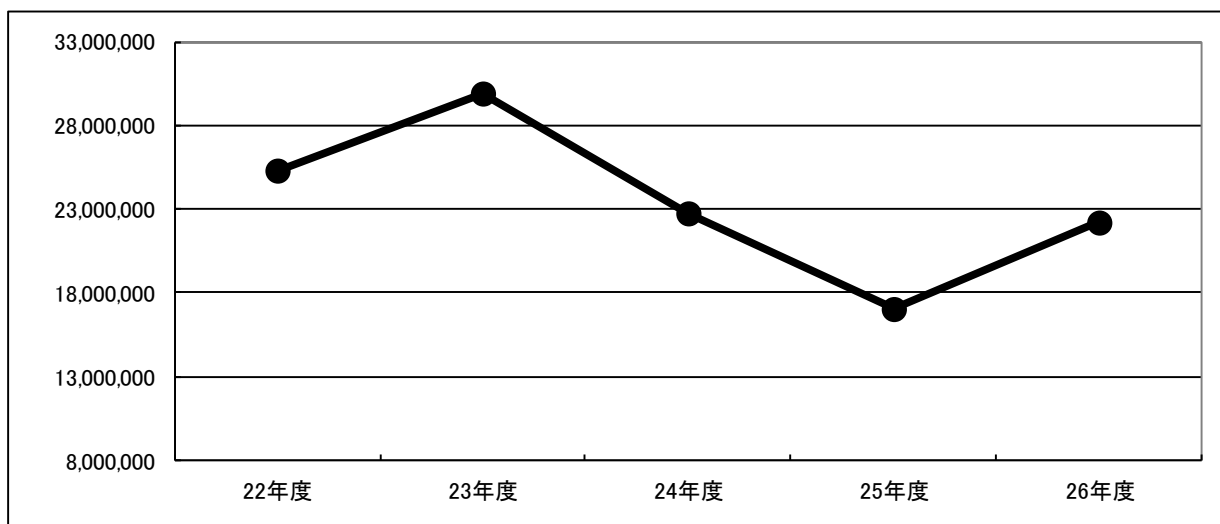
施設管理

本年度もお客様が安全、快適に施設を利用できるように施設管理に努めた。ユリックス開館後 26 年目となり、機器の老朽化に伴う修繕が増えてきている。市の保全工事との調整を進め、ホール監視カメラやイベントホール避雷針などの更新・修理を行った。

9 月と 3 月に実施した防災訓練においては、初期消火設備の確認やアクアドームの避難誘導訓練を重点的に実施した。9 月には、AED 操作を含む救急救命講習もあわせて実施した。

宗像市が実施している保全工事については、本館の外壁やトイレ、ゆ〜ゆ〜プール管理棟、テニスコートクラブハウスなど多くの工事が実施された。特に本館については、営業を行ないながらの工事のため、ご利用者と騒音との調整には苦慮した。

[修繕状況]



修繕状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
修繕発生件数(件)	116	129	105	92	101
対前年度比	-	111.2%	81.4%	87.6%	109.8%
対22年度比	-	111.2%	90.5%	79.3%	87.1%
修繕コスト(円)	25,322,627	29,923,555	22,768,586	17,056,927	22,218,978
対前年度比	-	118.2%	76.1%	74.9%	130.3%
対22年度比	-	118.2%	89.9%	67.3%	87.7%

[主な改修・修繕（財団実施）]

1	イベントホール避雷針修繕工事
2	ホール監視カメラ修繕工事
3	冷却塔用補給水管修繕工事
4	サーキットコース側溝蓋取替工事
5	パットゴルフ人工芝張替工事
6	園路灯照明器具取替工事

[保全改修事業・第Ⅱ二期（宗像市実施）]

1	本館外壁改修工事
2	アクアドーム電気設備改修工事
3	ゆ〜ゆ〜プール管理棟改修工事
4	クラブハウス改修工事
5	せせらぎ機械設備改修工事
6	本館東ゾーントイレ改修工事

収 2 「利用者サービス事業」

取り組み・施策

この事業は、公園内に設置している自動販売機による飲食物販売やアクアドーム、ゆ〜ゆ〜プールでの物品販売及び飲食物販売、イベント時の物品販売、受付での消耗品販売など施設利用者の利便性に資するために行っている。

●自動販売機設置事業

利用者に飲食物の便宜を供するために自動販売機を設置しており、15～35%を手数料としている。平成 26 年度は 4,323 千円の手数料収入を得ており、今後も設置台数を増やすなどサービスの向上に努めていく。

●物品等販売事業

雨傘や書籍、切手、飲食物等の便宜を供するために販売事業を行っており、平成 26 年度は 2,858 千円の手数料収入・販売収入を得た。

今後も顧客のニーズに対応するために新しいサービスを模索していく。

公2「文化芸術振興事業（文化事業）」

文化事業／総括

平成26年度主催事業として、古典芸能3、クラシック10、音楽8、演劇3、映画14、美術2、アウトリーチ86、その他事業9、合計135事業を実施した。

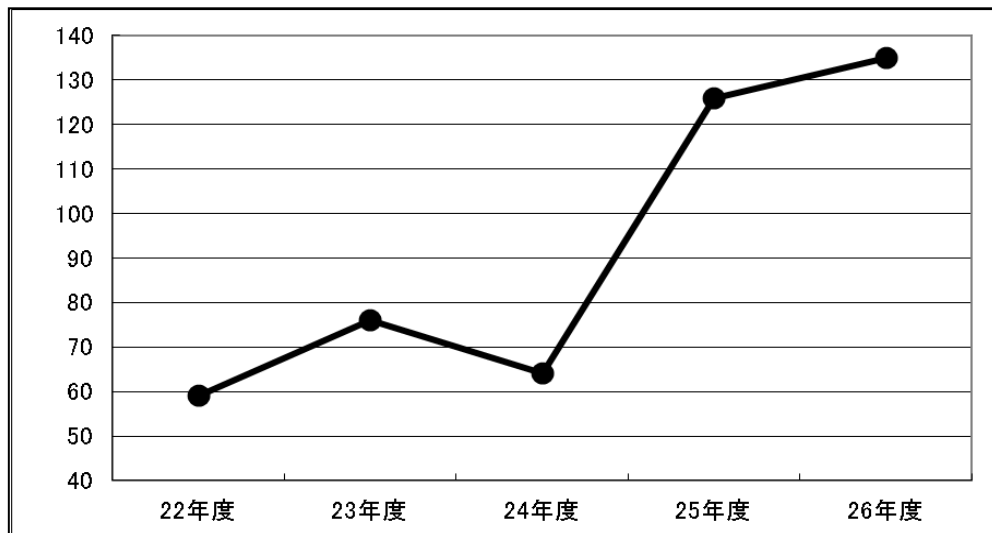
平成25年度に開催し反響が非常に大きかった「宗像ミアール音楽祭」を継続的・発展的に取り組むことが決定し、9月14日・15日の2日間で開催した。入場者数はアウトリーチ事業を含めると、21,587人となった。地域の人々の参加と共感を得ることにより、「新しい広場」としての役割を果たすとともに、文化芸術の担い手となる人材の養成と交流による市民文化活動の活性化にも寄与したと考える。また、4月には市内小学生を対象として募集を行い「ユリックス ジュニアブラス」の活動を開始し、音楽祭や吹奏楽祭などの様々な機会に、子どもたちの爽やかな演奏を披露することができ、今後の大きな成長が期待されている。

「むなかた芸術祭」、「むなかた吹奏楽祭」、「むなかた文化祭」、「むなかた子ども芸術祭」の4事業については、市の文化行政の中核事業であり、市と十分な連携を取りながら、共催事業として取り組んだ。

[事業本数・ジャンル別]

(単位：本)

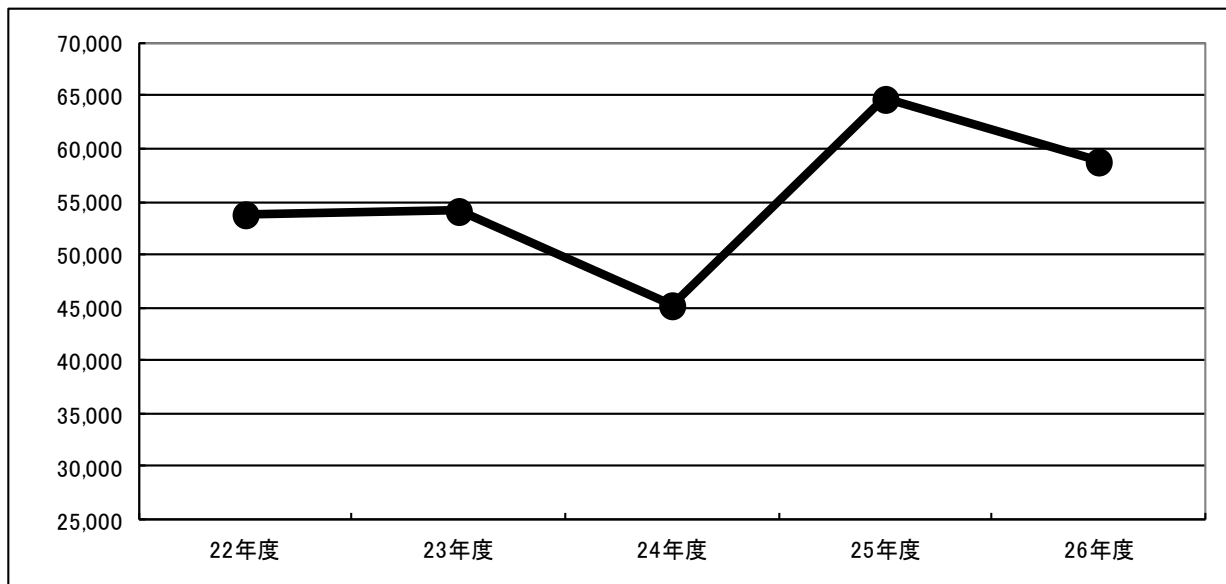
事業ジャンル	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
音楽(クラシック)	9	11	9	9	10
音楽(クラシック以外)	5	9	6	7	8
映画	13	16	13	16	14
演劇・古典芸能	9	10	8	8	6
美術	4	3	1	3	2
アウトリーチ	6	18	15	71	86
その他	13	9	12	12	9
合計	59	76	64	126	135
対前年比	98.3%	128.8%	84.2%	196.9%	107.1%



[入場者数]

(単位：人)

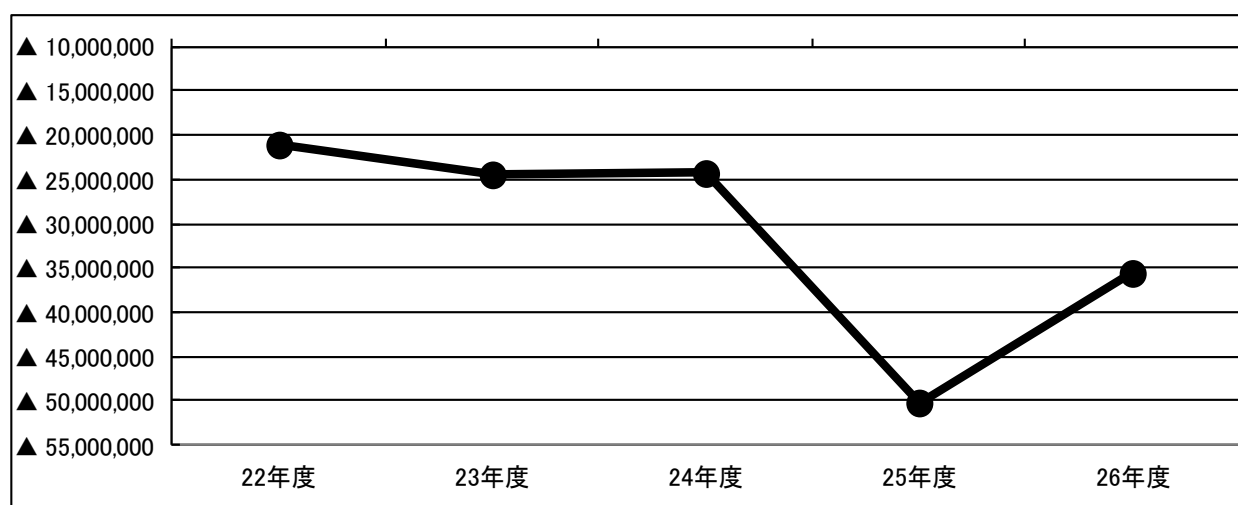
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
入場者数	53,798	54,110	45,206	64,700	58,788
対前年比	122.5%	100.6%	83.5%	143.1%	90.9%
対22年度比	-	100.6%	84.0%	120.3%	109.3%



[収支状況]

(単位：円)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
収入	48,751,007	53,139,055	39,787,520	83,313,635	60,136,440
支出	69,801,776	77,565,719	64,062,541	133,567,428	95,722,796
収支差額	▲ 21,050,769	▲ 24,426,664	▲ 24,275,021	▲ 50,253,793	▲ 35,586,356



※収入：文化事業費収入—文化事業共通収入—チケット発送手数料収入

支出：文化事業費支出—給与手当支出—賃金支出（当日アルバイト除く）—文化事業共通支出

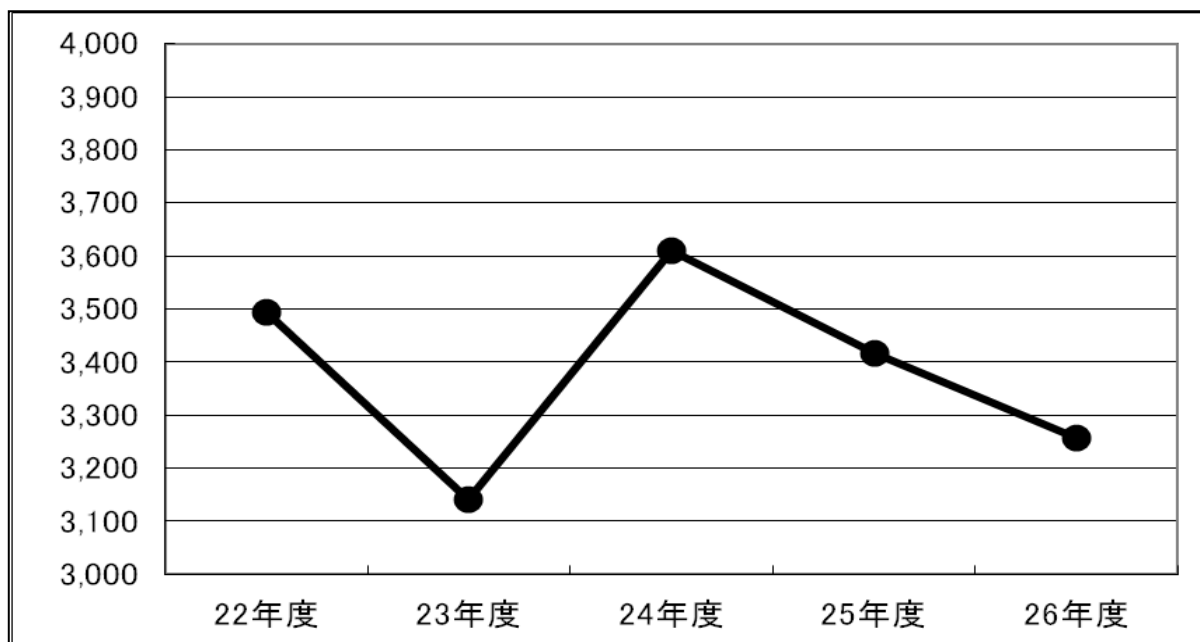
[ユリックス倶楽部（友の会）事業]

平成26年のユリックス倶楽部会員数は、3,257人となった。前年と比較し160人の減となった。

尚、平成27年度からは「ユリックス スマイルクラブ」と名称を改め、特典の見直しも行い、会員の皆様にとってより利便性の高い会員制度をスタートさせる。

(単位：人)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
会員数	3,494	3,140	3,609	3,417	3,257
対前年比	98.3%	89.9%	114.9%	94.7%	95.3%
対前年人数	▲ 59	▲ 354	469	▲ 192	▲ 160



[ユリックス倶楽部入会特典について]

●ユリックス倶楽部特典 □年会費 継続 1,500円 新規 2,000円

☆一般発売よりも7日早くチケット購入。

☆託児サービスが無料。(通常1,000円)

☆ユリックス主催のチケット割引。2,500円(500円×5枚)分

☆倶楽部会員招待事業の無料チケット進呈。(※通常料金2,500円相当)

☆毎月、情報誌「ユリックス・サラダ」をお届け。(宗像・福津・宮若市以外)

☆アクアドーム、パットゴルフ、プラネタリウム、ゆ〜ゆ〜プールが割引料金で利用可。

☆貸出対象地区以外の方にも図書の出借。

☆宗像文化サークルの入会金500円引き。

※上記特典は27年度より見直しを実施。

主催事業・ジャンル別

(1) 宗像ミアーレ音楽祭～響きわたれ！おんがくの風～

9月14日(日)～15日(月・祝)の2日間で下記事業を開催。

事業名称	出演者	入場者数
【プレイベント】 九管ポップスファミリーコンサート	九州管楽合奏団	1,301人
【プレイベント】 ジャジャジャジャーで始まる！ わくわく・ドキドキ♥オーケストラ体験	指揮とお話：松村秀明 管弦楽：九州交響楽団	450人
九響と散策する名曲の小径 プロムナード1 プロムナード2	指揮：現田茂夫 ピアノ：三船優子	542人 422人
THE DREAMBAND CONCERT ア・ラ・カルト リラックスコンサート	THE DREAMBAND	1,000人
福岡教育大学学生と市民合唱団による コンサート	合唱指導：重住千寿香 福岡教育大学音楽専攻学生 ミアーレ・ジュニア合唱団	620人
吹奏楽部学生 200人コンサート スペシャルゲスト：精華女子高等学校吹奏楽部	市内中学高校の吹奏楽部学生 精華女子高等学校吹奏楽部	1,389人
すくすくコンサート	4編成	151人
市民ステージ		1,921人
楽器体験		4,000人
トワイライトビアライブ		1,500人
いきいき出前コンサート 市内各所 86ヶ所で開催	・九州交響楽団メンバーによる 弦楽四重奏 ・九州管楽合奏団メンバーによる 金管五重奏 ・白石光隆（ピアノ）他	8,291人
入場者数合計		21,587人

【事業の成果】

- ・生演奏に触れる機会を通じた広く市民への音楽文化の浸透
- ・継続的な文化芸術活動による鑑賞機会の確保とそれを支える仕組みづくり
- ・人材の養成と交流による市民文化活動の活性化

【運営体制】

「宗像ミアーレ音楽祭 2014～響きわたれ！おんがくの風」実行委員会を組織し、下記8部会を設置し運営を行った。（平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業「活動別支援」補助事業）

- ・ホールイベント部会
- ・アウトリーチ部会
- ・ミアーレ合唱部会
- ・市民ステージ部会
- ・楽器体験部会
- ・野外イベント部会
- ・すくすくコンサート部会
- ・出店部会

【 宗像ミアーレ音楽祭 2014 画像 】

九響と散策する名曲の小径



THE DREAMBAND



九管ポップスファミリーコンサート



楽器体験



市民ステージ(ホワイエ)



トワイライトビアライブ



【 宗像ミアーレ音楽祭 2014 画像 】

ミアーレ・ジュニア合唱団



吹奏楽部学生 200 人コンサート



精華女子高等学校吹奏楽部 〈吹奏楽部学生 200 人コンサートスペシャルゲスト〉



(2) クラシック事業

『プラジャーク弦楽四重奏団&三輪郁』、『アンサンブルベルリン』、『仲道郁代 ピアノで遊んでみませんか』、『グレゴリオ聖歌&真言宗声明』、『前橋汀子ヴァイオリンリサイタル』など 10 事業を実施した。

『仲道郁代 ピアノで遊んでみませんか』は音を視覚化するなどの工夫を施した鑑賞型と音づくりなどをする体験型プログラムを持った内容であり、音を通じたコミュニケーション能力の向上を目的とした。ワークショップの特徴は対象を、小学校5年生と将来、音楽文化の普及を担うであろう福岡教育大学学生としたところにある。プロの演奏家による指導のもと、音楽を専攻する学生たちが様々な工夫が施されたワークショップに参加し、音楽が生み出す創造性と音づくりの体験やワークショップが目指すもの等の習得を行った。結果として、翌日実施された小学校でのワークショップに、指導を受けた学生がファシリテーターとして参加し、子どもたちに音楽の楽しさを伝える場も体験することができた。

アンサンブルベルリン



仲道郁代 ピアノで遊んでみませんか？



グレゴリオ聖歌&真言宗声明



前橋汀子ヴァイオリンリサイタル



(3) 音楽事業（クラシック以外）

『畠山美由紀コンサート』、『由紀さおり&安田祥子ファミリーコンサート』、『北海道歌旅座昭和ノスタルジア』など8事業を実施した。

(4) 九州管楽合奏団

『九管ポップスファミリーコンサート』、『小学4年生芸術鑑賞モデル事業』、道の駅来場者1,000万人突破を記念し、道の駅むなかたとの共催事業『九管クリスマスフェスタ WITH 精華女子高等学校吹奏楽部』のホール公演を実施した。また、例年同様に楽器クリニック、学校公演などの活動を行った。

九管クリスマスフェスタ WITH 精華女子高等学校吹奏楽部



(5) ユリックス ジュニアブラス

宗像市内小学生を対象として団員を募集し、『ユリックス ジュニアブラス』を設立、26年4月に14名の団員で活動を開始した。九州管楽合奏団のチューバ奏者・丸田友博氏を指導者に迎え、ステージでの披露を目指して、毎週火曜日を定例練習日として、熱心な練習を行った。

初ステージは宗像ミアーレ音楽祭の開会式で、団長である谷井市長の指揮による演奏で、多くの市民の皆様から温かい激励の拍手をいただいた。27年4月から22名の団員となり、今後の活躍が期待される

宗像ミアーレ音楽祭開会式で初披露



(6) いきいき出前コンサート

「ホールで生の音楽を聴きたいけど、なかなか足を運ぶことができない。」そんな方々へ、プロの演奏家が「その場所」まで出向き、「生の演奏」をお届けし、プロの演奏家による本物の音を通して、「生きる喜び」や「感動する心」、「豊かな感受性」を育むことを目的とする。

本年度は、年間を通して市内各所 86 ヶ所で、いきいき出前コンサートを実施した。

また、新たに福岡教育大学音楽専攻学生による編成による活動をスタートした。

【主な編成】

- ・九州管楽合奏団 金管五重奏
- ・九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏
- ・ピアノ&サクソフォン(二羽正行・松木陽介)
- ・白石光隆(ピアノ)
- ・持松朋世(ソプラノ) 等

ピアニスト白石光隆(地島小学校)



九州交響楽団 弦楽四重奏



ピアノ & サクソフォン



九州管楽合奏団 金管五重奏



(7) 映画事業

14 作品を上映し、総入場者数 7,379 人となった。1 作品当たりの入場者数は 527 人で前年に対し、11 人の増となった。最高入場者数は「ふしぎな岬の物語」の 765 人となった。

	事業本数	入場者数	1 作品当り入場者数
平成24年度	13本	6,772人	516人
平成25年度	16本	8,101人	506人
平成26年度	14本	7,379人	527人
前年差異	-2本	-722人	+21人

(8) 演劇・ミュージカル事業

『バトントワリング BEAT』、『劇団飛行船 桃太郎』、『ブルガリアカザンラック民族舞踊団』の 3 本の事業を実施した。

(9) 古典芸能

『ゆりつくす日曜百円寄席』、『春風亭小朝独演会』、『うぐいす寄席』、など 3 事業を実施した。

(10) 美術事業

美術事業は、「県展宗像ブロック展」、「大きなクスの木の下で」美術館展の 2 事業を開催した。

(11) 宗像市との連携事業

平成 22 年度より文化行政 4 事業を実施しており、各事業の入場者数は、『むなかた芸術祭』2,174 人、『むなかた吹奏楽祭』2,000 人、『むなかた文化祭』4,040 人、『むなかたこども芸術祭』753 人となった。

「宗像市文化芸術のまちづくり 10 年ビジョン」の具体的な取り組みとして、「小学 4 年生芸術鑑賞モデル事業」を行った。これは小学生に本物の文化芸術を鑑賞する機会を提供するものである。九州管楽合奏団の団員が各学校を事前に訪問し、マナー等をレクチャーするなどの工夫を行った結果、非常に高い評価を受け、次年度の開催も決定。

小学 4 年生芸術鑑賞モデル事業 九州管楽合奏団（指揮：時任康文）



(12) その他

東京・渋谷にある「こどもの城」主催、「おりがみカーニバル全国児童館おりがみ作品巡回展」を開催した。「私たちの自然」をテーマに全国の子どもたちが作成したおりがみ作品 31 点が全国を巡った。福岡からは赤間小学校学童保育所が「宗像の花『かのこゆり』と宗像三女神」をテーマに作成し展示した。

ロビーライブは、映画上映の間の時間を利用して、年間 10 回実施し鑑賞者数 1,200 人となった。合唱やアコーディオン演奏などジャンルも様々で、名画シアターの魅力のひとつとなっている。

後援事業

地域における文化の振興と文化団体の育成を目指し、後援事業を積極的に行っている。

(共催 1 件、後援 4 件、協力 2 件)

PR事業

■ユリックス・サラダ

情報誌『ユリックス・サラダ』の発行部数は、71,250 部（宗像市広報 33,300 部 福津市広報 21,400 部 宮若市 12,400 部 その他 4,150 部）。

宗像地区・宮若市への全戸配布のほか、宗像地区以外のユリックス倶楽部会員、マスコミ各社、JR 九州鹿児島本線沿線駅、近隣文化施設などに送付した。

■マスメディアの活用

主催事業の中で事業効率を上げるために必要と思われるイベントについては、TV局ラジオ局に名義共催を依頼し、スポットCMを流すなど販売促進につなげるようにした。

また、新聞広告、情報専門誌などに各公演の発売前に「プレス資料」を作成し、掲載を依頼するなど、活字媒体を有効に利用し、積極的に情報発信を行った。

■ポスター・チラシなど

ユリックス催し物の内容や開催時期をお知らせするポスター・チラシは、プレイガイドや近隣の文化施設に適宜配布し、主催事業のPRを行った。また、チラシの配布については、主催事業はもちろんのこと、ユリックスでの貸館公演の際にパンフレットに折込みを依頼した。

■ホームページ

公演情報や募集案内など、ユリックスの様々な情報をホームページに掲載し、適宜更新した。常に、各施設の案内から利用料金、主催事業や貸館でのイベント情報、当館までの交通アクセスなど、さまざまな情報を掲載して、お客様の利便性向上に努めている。

平成 26 年度は、トップページのレイアウトを変更し、視覚的に事業の魅力をお伝えできるよう、見やすく改良した。また、平成 27 年 4 月稼働の新チケットシステムに合わせ、チケット予約・購入をインターネットで行なえるよう、お客さまの利便性向上を図った。

平成26年度宗像ユリックス主催事業一覧

■主催事業（公演事業等）

NO	月日	事業名	ジャンル	会場	主な 入場料金	入場者	収支差額（円）	内容
1	4/3 ～ 4/13	おりがみ作品巡回展	美術	展示室	無料	2,097人	△ 315,576	共通テーマ「私たちの自然」をイメージして、全国の子どもたちが作品を制作。福岡県からは赤間小学校学童保育所の子どもたちが制作した作品が出品された。
2	4/4	パトントワリングショー B.E.A.T. Show II 「人間失格」	演劇	ハーモニー	4,500円	703人	△ 178,951	数々のパトントワリング世界選手権で、華々しい結果を残すイケメン4人のパトントユニット、「B.E.A.T.」による九州初公演
3	毎月 第二 日曜日	ゆりっくす日曜百円寄席（8月を除き毎月開催）	古典芸能	大和室	100円	1,028人	△ 144,240	日本の芸能である落語を定期的にお届けする。併せて、地域の落語家の皆様に定期的に発表の場を設け、地域文化の振興を図る。
4	5/11	畠山美由紀 五月色(いろいろづき)コンサート	音楽	ハーモニー	2,500円	404人	△ 701,588	聴く人の心に寄り添う歌を歌い続け、同世代の女性をはじめ、音楽ファンから圧倒的な支持を得ている畠山美由紀のコンサート。
5	5/18	由紀さおり・安田祥子ファミリーコンサート ～うたが咲いています～	音楽	イベント	5,000円	943人	△ 2,409,953	由紀さおり・安田祥子姉妹による、家族の心にはやさしく響く童謡コンサート。
6	6/7	北海道歌旅座 「昭和ノスタルジアコンサート」	音楽	ハーモニー	1,500円	423人	△ 506,963	世代を超えて歌い継がれる名曲、懐かしい昭和の歌謡曲を披露。
7	6/8	ブラジャーク・クワルテット&三輪郁	音楽	ハーモニー	2,000円	208人	△ 1,621,600	弦楽四重奏曲の中でも名曲との呼び声の高い2曲を、質の高い演奏でお届けした。
8	7/19	劇団飛行船マスクプレイミュージカル「桃太郎」	演劇	ハーモニー	2,300円	585人	△ 988,092	原作の素晴らしさを大切に、分かりやすく、面白いマスクプレイミュージカル。
9	7/30	古澤巖鎮国寺奉納公演 ～弦楽のタンゴ～	音楽	鎮国寺	2,500円	113人	99,990	ヴァイオリニスト古澤巖が全国の神社仏閣で行っている奉納演奏。
10	8/3	ドラムストラック	音楽	イベント	6,480円	750人	△ 310,302	ジェンベなどアフリカの伝統的な打楽器による観客参加型パフォーマンス・アート。RKB共催
11	9/23	ブルガリア・カザンラック民族舞踊団	音楽	ハーモニー	2,000円	620人	△ 104,278	きらびやかな民族衣装の新作披露や聞いたことのある曲をブルガリアの伝統楽器と独特のリズムでのアレンジ演奏など見どころ、聞きどころ満載だった。
12	10/26	白石光隆 秋を彩る「おしゃべり」コンサート	音楽	ハーモニー	1,500円	140人	△ 1,348,258	ピアニスト白石光隆「おしゃべりコンサート」第2弾。今回は「秋」をテーマに世界の名曲を軽快なトークとともにお届けした。
-	8/2	白石光隆の ～ピアノの話をしませんか？～	音楽	リハーサル	500円	55人	△ 79,758	秋を彩る「おしゃべり」コンサートプロローグイベント。子ども向けの夏休み音楽講座。午前、午後2回開催
-	9/28	白石光隆の ～ピアノの話をしませんか？～	音楽	ハーモニー 舞台	500円	50人	△ 70,920	秋を彩る「おしゃべり」コンサートプロローグイベント。ベートーヴェンのお話他、多彩な音楽講座。
13	10/15 ～ 10/26	第70回福岡県美術展覧会 県展 宗像ブロック展	美術	美術 ギャラリー	無料	835人	△ 599,363	福岡県美術展覧会の巡回展。日本画・洋画・書・写真部門の入賞作品と宗像地区の入選者作品、また、同地域の福岡県美術協会員出品作品を展示。
14	11/1	アンサンブル・ベルリン	音楽	ハーモニー	4,000円	260人	△ 1,758,335	世界最高峰のオーケストラ、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーによる、アンサンブル演奏
15	11/22	仲道郁代 不思議ボール 助成：自治総合センター	音楽	ハーモニー	2,500円	223人	△ 1,194,826	人気・実力ともに日本を代表するピアニスト仲道郁代がお届けする、絵とおはなしとピアノの名曲を集めたコンサート
-	11/20・ 21	仲道郁代 ワークショップ	音楽	福岡教育大 ・日の里西 小学校	無料	100人 73人	-	仲道郁代による鑑賞と体験の要素を取り入れたワークショップ。本物の音が持つ迫力を通して子どもたちの明るい表情を引き出し、コミュニケーション能力の形成を目指した。
16	12/12	グレゴリオ聖歌&真言宗声明 助成：(一財)地域創造連携事業)	音楽	ハーモニー	4,000円	597人	△ 1,126,100	ヨーロッパ教会音楽の祖である「グレゴリオ聖歌」と日本音楽の源流といわれる「声明」。東西の古典芸能がコラボレーションし、新たな音楽の魅力を創造する。完売となった。
-	10/11	真言宗声明ワークショップ	音楽	鎮国寺	無料	80人	-	普段馴染みの少ない真言宗声明についての事前レクチャー。
17	1/25	春風亭小朝独演会	古典芸能	ハーモニー	3,500円	435人	△ 54,788	一昨年、大好評だった、春風亭小朝の独演会。落語界を牽引する名手のひとり春風亭小朝の音楽を聴いているようなリズム感のある高座は多くのお客様を落語の世界に引き込んでいた。
18	3/14	前橋汀子ヴァイオリンリサイタル	音楽	ハーモニー	3,500円	354人	△ 721,071	演奏活動50年を迎え、日本を代表する国際的ヴァイオリニストとして、その演奏は優雅さと円熟みにあふれ、多くの聴衆を魅了してやまない前橋汀子の待望の宗像ユリックス初リサイタル。
19	3/29	ユリックス倶楽部会員招待事業 北海道歌旅座「昭和ノスタルジアコンサート」	音楽	イベント	会員無料 一般 1,500円	1,700人	△ 1,498,845	6月に開催した音楽事業。好評であったためユリックス倶楽部招待事業として開催。

NO	月日	事業名	ジャンル	会場	主な 入場料金	入場者	収支差額(円)	内容
----	----	-----	------	----	------------	-----	---------	----

■宗像ミアーレ音楽祭～響きわたれ！おんがくの風～2014

【プレイベント】

-	7/26	音学会&音楽会 Lesson1 オーケストラの編曲について Lesson2 フィギュアスケートの使用曲について	音楽	ハーモニー舞 台	500円	74人	△ 58,970	ハーモニーホールでの舞台上でピアノの基礎知識や、作曲家について楽しく学べる講座。ミアーレ音楽祭関連イベント。 講師 今村晃・ピアノ 三船優子。
21	8/8	ジャジャジャジャーンで始まる！ わくわく・ドキドキ♥オーケストラ体験！！	演劇	ハーモニー	1,500円	450人	△ 996,709	宗像ミアーレ音楽祭2014プレイベント。9月に開催する「宗像ミアーレ音楽祭2014」に先駆けて、九州交響楽団による小・中学生を対象にしたコンサートを開催。
22	8/21	九管ポップスファミリーコンサート ～ストーリーオブ・ミュージック～	音楽	ハーモニー	1,000円	1,301人	△ 1,871,538	宗像ミアーレ音楽祭2014プレイベント。九州管楽合奏団の夏休みファミリーコンサート。午前公演、午後公演共に完売した。 □

【本公演】

23	9/14	THE DREAM BAND ア・ラ・カルト コンサート	音楽	イベント	500円	1,000人	△ 11,835,477	宗像市民には、おなじみのラテンのリズムに乗せた、演奏者と聴衆が一体となったコンサート。共演：ドス・パンチョス(アルマンド小木ノパンチョ副島)
	9/14	九響と散策する名曲の小径 プロムナード①プロムナード②	音楽	ハーモニー	2,500円	964人		日本を代表する指揮者・現田茂夫、ピアニストには人気・実力ともに定評のある三船優子を迎え、九州交響楽団と共に世界の名曲・話題曲をお届けした。
	9/14 ～ 9/15	市民ステージ	音楽	ホワイエ、 中庭、 古墳広場	無料	3,421人		アマチュア演奏家による演奏。ピアノ、エレクoon、三味線、ギター、ハーモニカ、合唱、ブラスバンドなど。古墳広場では、トワイライトビライブも開催。
	9/15	福教大生と市民合唱によるコンサート	音楽	ハーモニー	500円	620人		昨年の音楽祭で大活躍の宗像ミアーレ合唱団、宗像ミアーレ・ジュニア合唱団、そして福岡教育大学で音楽を学ぶ学生によるコンサート。完売となった。
	9/15	宗像ミアーレ音楽祭2014 楽器で遊ぼう！音のミュージアム	音楽	美術ギャラ リー、会議室、 大和室	無料	4,000人		市内の音楽団体、学生の協力により、管楽器、弦楽器、打楽器に、和楽器までさまざまな楽器体験ができる。今年はスタンプラリーも開催。
	9/15	宗像ミアーレ音楽祭2014 吹奏楽部学生200人コンサート	音楽	イベント	500円	1,389人		宗像地区の中学・高校の吹奏楽部学生200人がミアーレ音楽祭で演奏。さらに、精華女子高等学校吹奏楽部も共演した。完売となった。
	9/15	宗像ミアーレ音楽祭2014 すくすくコンサート	音楽	プラネタリウム	500円	151人		未就園児とその母親(保護者)を対象とした人気のコンサート。プラネタリウムの星空とともに演奏。

【いきいき出前コンサート】

24～ 109	通年	いきいき出前コンサート(すくすくコンサート含む)	音楽	市内各所	無料	8,291人	△ 4,620,327	音楽祭の併催事業として、市内各所86ヶ所出張コンサートを開催。※詳細は別紙参照
------------	----	--------------------------	----	------	----	--------	-------------	---

■九州管楽合奏団(九管ポップスファミリーコンサート(No.22)は宗像ミアーレ音楽祭プレイベントとして実施)

110	12/14	九管クリスマスフェスタ2014 with精華女子高等学校吹奏楽部 主催：道の駅むなかた	音楽	ハーモニー	2,000円	541人	-	道の駅むなかたの来場者1,000万人達成記念事業「九州管楽合奏団」と全日本吹奏楽コンクール(高校の部)で金賞を獲得した「精華女子高等学校吹奏楽部」が夢の饗宴。完売となった。
111	10/25	九管クリニック	音楽	諸施設	1,000円	200人	26,510	九州管楽合奏団団員による楽器クリニック(奏法指導)。各楽器ごとに分かれ中学・高校の吹奏楽部生を指導。
112	2/20	九管学校公演 【日の里学園9年生を送る会】	音楽	日の里中	無料	502人	40,000	九州管楽合奏団メンバーによる金管十重奏が「日の里学園9年生を送る会」で演奏。日の里中学校吹奏楽部との共演もあり。
-	-	九管練習利用	音楽	-	-	-	△ 461,340	宗像ユリックスと九州管楽合奏団の連携協定に基づき、楽団員が練習利用した場合に、事業部が会場使用料を負担するもの。

■ユリックス ジュニアプラス

113	通年	ユリックス ジュニアプラス	音楽	-	月会費 4,000円	-	△ 1,412,601	宗像市内の小学校3年生以上を条件に募集し、4月に設立。14人でスタートし、3月末には21名の団員。音楽祭や吹奏楽祭等で演奏を披露。毎週火曜日に練習。指導者：丸田友博(九管団員)
-----	----	---------------	----	---	---------------	---	-------------	--

■名画シアター

114 ～ 127	通年 毎月 1回	ユリックス名画シアター	14作品を上映	映画	ハーモニー	900円	7,379人	△ 4,007,275	【上映作品】(上映日) ・「ベニシアさんの四季の庭」(4/29) ・「かいけつゾロリ まもるぜ！ 恐竜のたまご」(5/5) ・「そして父になる」(5/17) ・「ペロスの母に会いに行く」(6/28) ・「愛、アムール」(7/27) ・「マダガスカル3」(8/10) ・「終戦のエンペラー」(8/30) ・「小さいうち」(9/25) ・「大統領の執事の涙」(10/24) ・「One Chance」(11/27) ・「はじまりは5つ星ホテルから」(12/18) ・「マダムインニューヨーク」(1/17) ・「柘榴坂の仇討」(2/26) ・「ふしぎな岬物語」(3/26)
128	通年	ロビーライブ		音楽	ハーモニー	無料	1,200人	△ 118,750	名画シアター開催時に上映の合間を利用して、応募をいただいた演奏者によるコンサートを開催。26年度は10日間で20回開催。

NO	月日	事業名	ジャンル	会場	主な 入場料金	入場者	収支差額(円)	内容
■宗像市との共催事業								
129	6/14 ～ 6/15	平成26年度 むなかた芸術祭	その他	美術 ギャラリー	無料	1,634人	△ 230,400	美術品展示・盆栽展示・生け花展示
	6/15	平成26年度 むなかた芸術祭	その他	茶室・大和室	500円			茶道 薄茶席(表千家)500円 呈茶席(裏千家)300円
	6/15	平成26年度 むなかた芸術祭	その他	ハーモニー	500円	540人		舞台公演(舞踊・三曲・吟剣詩舞道・民謡・音楽) 特別ゲスト:北九州市則松中学校箏学部
130	7/6	むなかた吹奏楽祭	音楽	イベント	無料	2,000人	△ 176,190	宗像市および近隣の中学校・高校・一般の吹奏楽団体による演奏会。
131	10/4 ～ 10/5	第34回むなかた文化祭	その他	美術 ギャラリー	無料	560人	△ 607,615	市文化協会と一般団体が日ごろの成果を発表。 一般展示部門(花アート、陶芸、エッグアート)
	10/5	第34回むなかた文化祭	その他	ハーモニー	無料	710人		市文化協会と一般団体が日ごろの成果を発表。 一般舞台部門(大正琴、フラダンス、ダンス)
	10/19	第34回むなかた文化祭	その他	ハーモニー	無料	70人		市文化協会と一般団体が日ごろの成果を発表 謡曲協会「第51回宗像市謡曲大会」
	11/8 ～ 11/9	第34回むなかた文化祭	その他	美術ギャラ リー	無料	962人		市文化協会と一般団体が日ごろの成果を発表 盆栽協会「伝統と創造の結晶」秋の盆栽展 華道協会「秋のいけばな展」
	11/9	第34回むなかた文化祭	その他	ハーモニー	無料	200人		市文化協会と一般団体が日ごろの成果を発表 舞踊協会「むなかた秋の踊り」
	11/14 ～ 11/16	第34回むなかた文化祭	その他	美術 ギャラリー	無料	526人		市文化協会と一般団体が日ごろの成果を発表 美術協会「秋の美術展」
	11/15	第34回むなかた文化祭	その他	ハーモニー	無料	180人		市文化協会と一般団体が日ごろの成果を発表 吟剣詩舞道協会「古今の名詩に親しむ」 民謡協会「民謡公演」
	11/16	第34回むなかた文化祭	その他	茶室 ・大和室	500円	132人		市文化協会と一般団体が日ごろの成果を発表 茶道協会「秋の茶会」
11/16	第34回むなかた文化祭	その他	ハーモニー	無料	700人	市文化協会と一般団体が日ごろの成果を発表 三曲協会「箏・三絃・尺八・演奏会」 音楽協会「むなかた音楽祭2014」		
132	11/24	第22回ふくおか県民文化祭	演劇	ハーモニー	無料	300人	△ 198,206	県民の主体的で多彩な文化活動を展開し、県民文化の発展を 図る。開催地の地域性を活かしながら県民文化の祭典にふさわ しい舞台を披露
	11/24	第16回子ども芸術祭	その他	ハーモニー	500円	700人		子どもの文化活動の発表の場や芸術鑑賞の機会を提供し、子 ども文化活動の充実を図る。6団体が出演
■宗像市からの受託事業								
133	11/7	小学校4年生芸術体験モデル事業 演奏:九州管楽合奏団	音楽	ハーモニー	無料	941人	-	「文化芸術のまちづくり10年ビジョン」の重点プロジェクトとして の事業。子どもたちから文化芸術に触れる機会の重要性を意 識し、小学校4年生が本格的な専用ホールで本物の文化芸術を 体験。
	11/7	小学校4年生芸術体験モデル事業 事前レク チャー	音楽	市内 小学校	無料	941人		九州管楽合奏団の団員が事前に各学校を訪問し、演奏会を楽 しむためのマナー等の基礎知識をレクチャー。
134	2/8	地域での芸術鑑賞体験モデル事業	音楽	自由ヶ丘 コミセン	無料	160人	-	「文化芸術のまちづくり10年ビジョン」の重点プロジェクトとして の事業。地域での芸術体験のモデル事業として実施。 演奏者:工藤真菜(VI)、田元真木(Vc)、宮本直美(箏・三絃)、 山崎壺山(尺八・土笛)
		地域での芸術鑑賞モデル事業	音楽	吉武 コミセン	無料	70人		
135	1/24 ～ 2/8	「大きなクスの木の下で」美術館展 Vol. 6 ～中村研一・琢二の作品と郷土の作家たち展～	その他	美術 ギャラリー	300円	1,036人	△ 31,071	今回は、宗像の大きなクスの木の下で育った中村研一・琢二兄 弟の作品と、宗像に縁の作家たちの作品も展示。開催期間中 の土・日曜日は、ワークショップやギャラリートークも開催。

平成26年度 いきいき出前コンサート実施一覧

(単位:人)

NO	月日	演奏者	実施時間	会場	入場者数
1	4/17	二羽(pf) + 松木(sax) + 富田(sax)	14:00~15:00	ひかりの里	50
2	5/5	二羽(pf) + 富田(sax)	12:30~ 15:00~	サンリブくりえいと宗像	200
3	5/10	二羽(pf) + 富田(sax)	14:00~14:45	24時間耐久駅伝	500
4	5/17	九管 サックス4重奏	10:00~	大島オルレ	300
5	5/21	二羽(pf) + 松木(sax) + 富田(sax)	10:30~11:15	カーサフェリーチェ	50
6	5/21	二羽(pf) + 松木(sax) + 富田(sax)	17:15~18:00	吉武コミセン	50
7	5/25	九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏	11:00~12:00	大島(中津宮)	93
8	5/25	九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏	15:00~16:00	東郷コミセン	50
9	5/27	九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏	11:00~12:00	特養むなかた	100
10	5/27	九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏	14:00~15:00	まりし病院	70
11	6/4	二羽(pf) + 松木(sax) + 富田(sax)	10:30~11:15	せせらぎ(雨天の為、ドームスタジオB)	27
12	6/4	二羽(pf) + 松木(sax) + 富田(sax)	15:00~15:45	光岡八幡宮(雨天の為、光岡公民館)	35
13	6/12	白石光隆	17:00~18:00	宗像高校	36
14	6/15	九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏	10:30~11:30	アクアドーム	50
15	6/15	九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏	15:00~16:00	河東コミセン	86
16	6/20	九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏	9:45~10:30	吉武小学校	300
17	6/20	九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏	14:15~15:00	玄海小学校	150
18	6/21	九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏	9:45~10:30	南郷小学校	300
19	6/21	九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏	14:00~15:00	岬コミセン	42
20	6/26	九管金管五重奏	10:30~11:15	浄徳寺幼稚園	320
21	6/26	九管金管五重奏	15:00~15:45	恵愛保育園	100
22	6/28	緒方愛子・家長玲於	15:30~16:15	メイトム宗像	33
23	6/29	九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏	10:30~11:30	赤間コミセン	61
24	6/29	九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏	14:00~15:00	赤間西コミセン	88
25	7/2	九管金管五重奏	10:00~10:45	日の里幼稚園	208
26	7/2	九管金管五重奏	13:30~14:15	玄海ゆりの樹 地島	17
27	7/3	九管金管五重奏	10:00~10:45	玄海ゆりの樹幼稚園	204
28	7/3	九管金管五重奏	15:00~15:45	玄海風の子保育園	80
29	7/7	二羽(pf) + 松木(sax) + 富田(sax)	10:30~11:15	いもどり真愛保育園	180
30	7/7	二羽(pf) + 松木(sax) + 富田(sax)	15:00~15:45	アクティブセンター ライズ	50
31	7/9	二羽(pf) + 松木(sax) + 富田(sax)	10:15~11:00	若木台幼稚園	150
32	7/9	二羽(pf) + 松木(sax) + 富田(sax)	14:00~14:45	宗像わかば苑	50
33	7/20	ガラトーンズ(村岡 他)	15:00~15:35	メイク・アウィッシュ	300
34	7/24	すくすくコンサート (高松・藤松)	10:30~11:30	池野コミセン	55
35	7/25	小学生限定 三船優子 「ピアノで遊ばませんか！」	13:00~14:00	河東コミセン	40
36	7/25	小学生限定 三船優子 「ピアノで遊ばませんか！」	15:30~16:30	自由ヶ丘コミセン	50
37	7/29	すくすくコンサート (岩崎・村岡)	10:30~11:30	東郷コミセン	47
38	7/29	すくすくコンサート (岩崎・村岡)	14:30~15:30	日の里コミセン	16
39	7/30	すくすくコンサート (高松・藤松)	10:30~11:30	赤間西コミセン	50
40	7/30	すくすくコンサート (高松・藤松)	14:30~15:30	自由ヶ丘コミセン	40
41	8/1	すくすくコンサート (岩崎・村岡)	10:30~11:30	赤間コミセン	50
42	8/2	二羽(pf) + 富田(sax)	17:00~17:45	ぶどうの樹(医師会)	60
43	8/2	九管マリンバ	18:00~18:45	池野コミセン前広場	300
44	8/6	すくすくコンサート (高松・藤松)	10:30~11:30	南郷コミセン	30

NO	月日	演奏者	実施時間	会場	入場者数
45	8/7	すくすくコンサート(高松・藤松)	10:30~11:30	玄海コミセン	50
46	8/7	九管金管五重奏	10:00~10:45	ひかり保育園	105
47	8/7	九管金管五重奏	15:00~15:45	平等寺保育園	135
48	8/12	すくすくコンサート(岩崎・村岡)	14:30~15:30	河東コミセン	31
49	8/20	九管金管五重奏	10:00~10:50	日の里西保育園	140
50	8/23	持松朋世(Pf山本佳代子)	11:00~11:40	ラディアむなかた	50
51	8/23	緒方愛子・家長玲於・古賀美代子	11:00~11:40	ライフステイむなかた	30
52	8/26	すくすくコンサート(岩崎・村岡)	14:30~15:30	吉武コミセン	30
53	8/28	九管金管五重奏	10:00~10:45	赤間くるみ幼稚園	205
54	8/28	九管金管五重奏	15:30~16:15	西海保育園	107
55	8/30	持松朋世(Pf山本佳代子)	11:00~11:40	宗像アコール	36
56	9/4	九管金管五重奏	10:00~10:45	日の里東保育園	130
57	9/4	九管金管五重奏	15:00~15:45	野ばら第二保育園	110
58	9/10	九管金管五重奏	10:00~10:45	東海大学付属自由ヶ丘幼稚園	116
59	9/10	九管金管五重奏	15:30~16:15	河東保育園	70
60	9/11	九管金管五重奏	10:00~10:45	野ばら保育園	115
61	9/11	九管金管五重奏	15:00~15:45	大島へき地保育所	23
62	9/17	九管金管五重奏	10:00~10:45	福岡教育大学附属幼稚園	82
63	9/20	二羽(pf) + 富田(sax)	19:00~20:00	玄海風の子保育園 夜の部	100
64	9/24	九管金管五重奏	11:00~11:45	第二赤間保育園	120
65	9/24	九管金管五重奏	9:30~10:15	赤間保育園	123
66	9/18	緒方愛子(VI)・家長玲於(Vc)	12:15~13:00	市役所	100
67	9/18	緒方愛子(VI)・家長玲於(Vc)	14:45~15:30	シャングリラ	50
68	9/20	緒方愛子(VI)・古賀美代子(Pf)	11:00~11:45	よつづか	50
69	9/20	緒方愛子(VI)・古賀美代子(Pf)	14:00~14:45	城山庵	40
70	9/27	緒方愛子(VI)・松本さくら(VI)	13:30~14:15	さわやか宗像館	50
71	9/29	白石光隆	12:00~12:45	宗像市役所	70
72	9/29	白石光隆	14:00~14:50	宗像なごみ苑	30
73	9/30	白石光隆	10:00~11:00	福岡教育大学 混声合唱団 音楽教棟1番教室	30
74	9/30	白石光隆	13:45~14:30	地島小学校	50
75	10/15	二羽(pf) + 松木(sax)	10:30~11:15	ゆいまーる	30
76	10/15	二羽(pf) + 松木(sax)	14:00~14:45	ケアハウス 岬	30
77	11/9	二羽(pf)	10:40~11:25	赤間西コミセン	150
78	11/24	福教大 音楽科 10名	10:30~11:15	宗寿園	30
79	11/24	福教大 音楽科 10名	14:00~14:45	さわやかむなかたのもり	50
80	12/5	すくすくコンサート(二羽・古賀)	10:40~11:25	メイトム こねっと	40
81	12/13	潮騒ライブ(コーラル・リーフ)	13:30~14:30	道の駅むなかた 新館2階	80
82	12/20	潮騒ライブ(ikuri)	13:30~14:30		80
83	1/13	九管金管五重奏	10:40~11:30	東郷信愛幼稚園	165
84	1/22	九管パーカッション	10:30~11:15	アートマネージメントフォーラム(九州芸文館)	50
85	2/14	福教大 音楽科 10名	10:30~11:15	むなかた苑	80
86	2/14	福教大 音楽科 10名	14:00~14:45	カーサフェリーチェ	60
入場者数合計					8,291人

公2「文化芸術振興事業（プラネタリウム運営事業）」

プラネタリウム総括

平成26年度のプラネタリウムの来場者数は30,345人となり、前年度より1,340人増となった。団体の利用者数は、前年度と同様好調である。今年度は広報の新たな試みとして、JR鹿児島本線列車内に広告を掲出（5月、10月、2月）、近隣地域へ折込チラシ（3月）、市内小学1年生に招待券配布などを行った。

●プラネタリウムプログラム

こども向けプログラム「ほしぞらクレヨン★」では、星空へのお絵かきやショートストーリー、クイズ、宇宙旅行など季節や星空に合わせて内容を変更し、来場者がいつも違った内容を楽しめる仕掛けを作り続けており、リピーターも多い。今年度は、ショートストーリーの「からす座のおはなし」「いるか座のおはなし」「やぎ座のおはなし」「オーロラのおはなし」の4作品と宇宙旅行のシーンを新たにオリジナルで制作した。

おとな向けプログラムでは、今年度は月食や隕石など話題の天文現象などについて取り上げたほか、かねてより要望が高かった、オーロラを取り上げた番組を実施した。オーロラの番組では国立極地研究所より高精細な映像素材を借り受けて投影したほか、立体視映像の提供も受けヘッドマウントディスプレイを使用した国内2例目（九州発）のオーロラ3D（立体視）展示を行った。また、市民ギャラリーでは古賀市在住の方によるオーロラ展も同時開催することができ、好評であった。

「リラクセーションプログラム」は通年で実施し、美しい星空とダイナミックな音楽を楽しむもので、こちらも好評となっている。

●学校団体向け学習プログラム

学習プログラムとして、小学校・中学校向けの各プログラム（4種類）を実施した。今年度は案内を送付範囲する範囲を広げた結果、新規利用校を獲得することができた。また、市内学校団体の利用状況は17校中12校で、昨年より325人増の1,061人の来場者数であった。

●ボランティアスタッフの活動の支援

ボランティアスタッフ（ほしぞらスタッフ）は49人の登録があり、観望会「ほしぞらウォッチング」を始めとした事業の企画・運営・補助を担っていただいている。今年度は年5回観望会に加え月食観望会、リピーター向けの特別観望会、冬期観望会などを企画・実施した。各事業には多くの来場者がある反面、ボランティアの参加人数が減ってきており課題となっている。

また、12月のこども向けプログラムにおいては、過去にボランティアが制作したプログラムを実施し、それに併せて登場するキャラクターの缶バッジをボランティアが制作し、来場者に配布した。

●その他活動

今年度より、小学生向けの講座「ほしぞら友の会」を開講し、市内外の30人の小学生（4～6年生）が参加し、月1回の講座・工作・観察を行った。12回の講座を実施し、延べ342人の参加数となった。宗像地域で科学を担う施設として、小学生に対する講座を今後も継続したい。

プラネタリウム番組

<平成 26 年度のプログラム>

区分	プログラム内容	来場者	実施期間
おとな向け	「国際宇宙ステーション」	1,762 人	4～6 月
	「皆既月食」	3,197 人	7～9 月
	「NEO～地球に近づく天体～」	1,304 人	10～12 月
	「オーロラ」	2,473 人	1～3 月
こども向け ほしぞらクイズ★	「からす座のおはなし」	2,421 人	4～6 月
	「いるか座のおはなし」	4,985 人	7・8 月
	「やぎ座のおはなし」	2,518 人	9～11 月
	「クリスマスのおくりもの」	790 人	12 月
	「オーロラのおはなし」	2,260 人	2・3 月
リレーション	「Starry Music ～image を聴きながら～」	3,023 人	通年
学習	小学3年生プログラム 小学4年生プログラム 小学6年生プログラム 中学3年生プログラム	13校 497人 50校 2,507人 5校 220人 1校 34人	通年

★ほしぞら友の会 2014



★観望会「ほしぞらウオッチング」



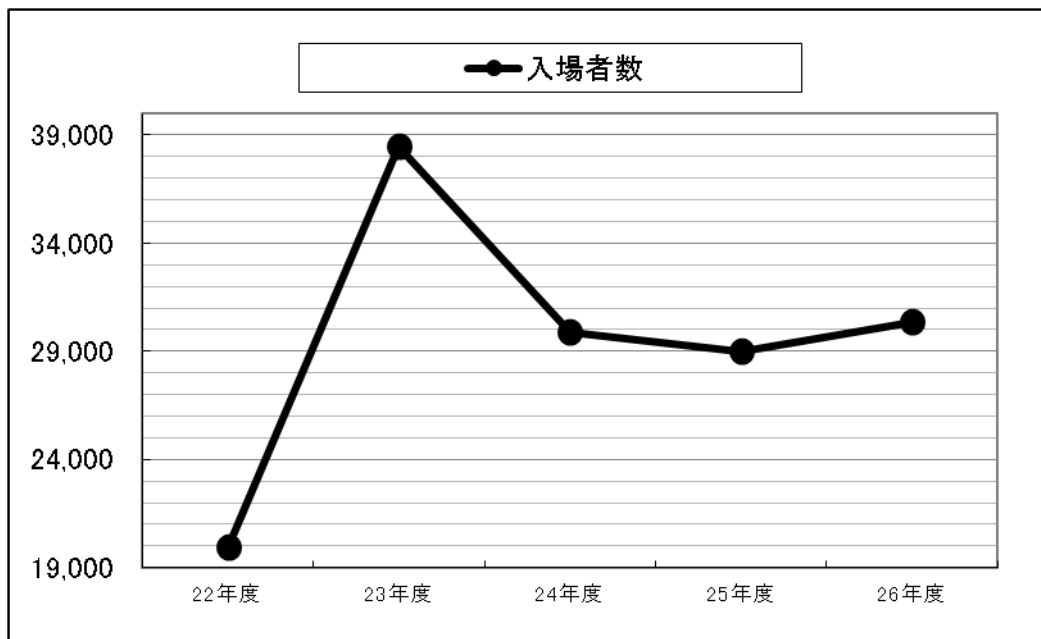
<入場者数の推移>

(単位:人)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
入場者数	19,925	38,465	29,887	29,005	30,345
対前年比	82.8%	193.0%	77.7%	97.0%	104.6%

※観望会等の野外を除く

※平成22年度は改修工事のため約3カ月間休止



<イベント実施状況>

	区分	イベント名	実施日	参加者人数
1	講座	ほしぞら友の会第1回「オリエンテーション」	4月26・27日	30人
2	講座	ほしぞら友の会第2回「星座早見盤の使い方」	5月31日	30人
3	講座	ほしぞら友の会第3回「日時計工作」	6月28日	27人
4	講座	ほしぞら友の会第4回「望遠鏡工作」	7月19日	28人
5	講座	ほしぞら友の会第5回「月の観察」	8月10日	30人
6	イベント	ミアーレ音楽祭「すくすくコンサート」(4回)	9月15日	151人
7	講座	ほしぞら友の会第6回「ハットホトルケット打上げ」	9月20日	29人
8	講座	ほしぞら友の会第7回「火薬ケット打上げ」	10月18日	30人
9	講座	ほしぞら友の会第8回「太陽観察」	11月22日	29人
10	講座	ほしぞら友の会第9回「流れ星」	12月20日	27人
11	講座	ほしぞら友の会第10回「プラネリウムの仕組み」	1月24日	31人
12	講座	ほしぞら友の会第11回「惑星」	2月28日	24人
13	講座	ほしぞら友の会第12回「星の一生」	3月21日	27人
14	イベント	TNC文化サークル写真講座第3回目	3月25日	8人
			合計	501人

<観望会「ほしぞらウォッチング」>

	実施日	内容	解説	天体観望
1	5月10日(土)	月・惑星	89人	120人
2	6月21日(土)	太陽観察	73人	73人
3	7月5日(土)	月・火星・土星	124人	124人
4	8月2日(土)	月・火星・土星	59人	59人
5	9月20日(土)	お月見	—	70人
6	10月8日(土)	皆既月食観望会	—	250人
7	12月20日(土)	特別観望会(固定来場者向けイベント)	—	32人
8	2月21日(土)	冬期観望会(雨天のため中止)	—	—
		合計	345人	728人

※平成21年度から、「ほしぞらスタンプカード」を実施。5～9月の観望会が対象。

金賞(パーフェクト5回参加)25人・金賞(4回参加)16人・銅賞(3回参加)13人

<出張観望会・出前講座>

	実施日	団体名	参加人数
1	8月1日(金)	古賀市エコロの森(出前講座・市外)	15人
2	8月9日(土)	福岡県マリンスポーツ実行委員会(講座・市外)	51人
3	8月24日(日)	ふれあいの森総合公園(観望会・市内)	雨天で中止
4	9月7日(日)	福岡市公民館活性化事業(観望会・市外)	20人
5	9月10日(水)	明治学園小学部5年生(観望会・市内)	150人
6	10月3日(金)	宮若市立山口小学校PTA(観望会・市内)	100人
7	10月11日(土)	日の里地区コミュニティ運営協議会(観望会・市内)	70人
8	10月18日(土)	ふれあいの森総合公園(観望会・市内)	70人
		合計	476人

公3「健康増進事業（健康増進施設管理運営事業）」

アクアドーム

本年度も、①健康づくり拠点としての機能強化、②一般利用者の増加、③宗像市関連部署との連携強化を念頭に業務に取り組んだ。

「宗像ユリックス総合公園条例」の公園施設使用料が改正された（プール個人一般使用料が約19%値上げ、ジム個人使用料金が約13%値下げ）。また、健レク事業の料金に関して、消費税8%に対応するために料金改定（増額）を行った。これらの影響もあり、プール利用者数の減少とジム利用者数の増加があったが、前年に続き利用者数が年間20万人を越えた。アクアドームの年間利用者数は、平成23年度より4年連続の20万人を超え、200,266人（前年比99.3%）と好調を維持している。温水プールは、年間利用者数131,564人（前年比97.7%）、トレーニングジムは年間利用者数45,346人（前年比105.4%）、スタジオの年間利用者数23,356人（前年比97.0%）となった。ウエルネスクラブ会員数は、40歳未満の入会者は31人と順調に推移し、市内類似施設との競合もあるが、総会員数は261人と7人増加した。また、芝生広場を活用した「グラウンドゴルフ」、調理実習の「男のクッキング」や「おばあちゃんの知恵袋」、ウォーキングバスハイク（春・秋）、ランニング練習会、健康づくり課作成のウォーキングマップを活用したイベントを企画し実施した。

一般利用者の増加については、宗像3大学2高校の優待利用や、広報紙での告知強化などを積極的に行った。

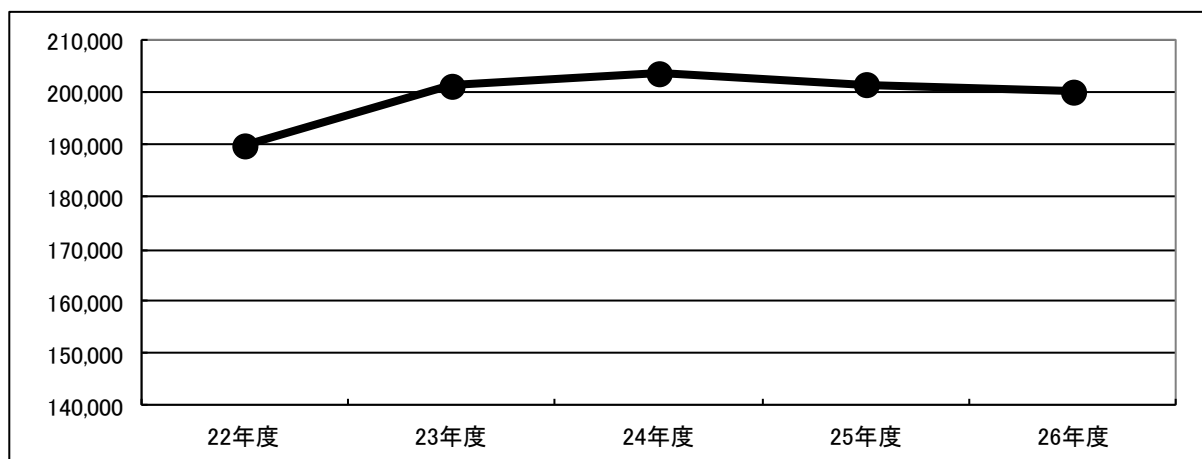
ゆ〜ゆ〜プールは41,430人と天候が悪く例年を大きく下回った。

宗像市関連部署との連携強化については、健康づくり課と連携した派遣指導業務や特定保健指導、介護予防事業、電話勧奨に取り組んだ。

【 アクアドーム利用者数 】

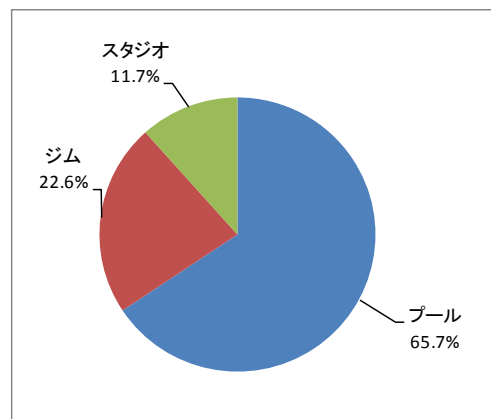
単位：人

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
入場者数	189,953	201,388	203,798	201,712	200,266
対前年比	106.2%	106.0%	101.2%	99.0%	99.3%



■ 施設別利用人数アクアドーム年間利用者数 200,266 人のうち、プール利用者は 131,564 人であり、アクアドーム全体の約 65.7%を占めた。

施設別に 25 年度と比較すると、プール利用者数 3,039 人減 (97.7%)、ジム利用者数 2,307 人増 (105.4%)、スタジオ利用者数 714 人減 (97.0%)であった。その結果、アクアドーム全体では 1,446 人減で 25 年度比 99.3%であった。



■ 利用種別状況

利用種別で見ると、プール利用者全体のうち個人・団体・回数券の利用割合は 17.7%、年間券は 40.3%であり、スイミングスクール・ウェルネスクラブ等の主催事業に係る利用は 44,773 人で全体の 34.0%となった。

トレーニングジム利用者の中では、ウェルネス会員の割合が 71.5%を占めた。

スタジオでは、宗像文化サークルを含めた一般利用 4,712 人(20.2%)、教室・レッスン・エアロビクス 18,654 人(79.8%)となった。

ゆ～ゆ～プール

本年度の営業は、7月5、6日と12、13日を先行営業し、通常営業は7月19日より8月31日の計48日間であった。

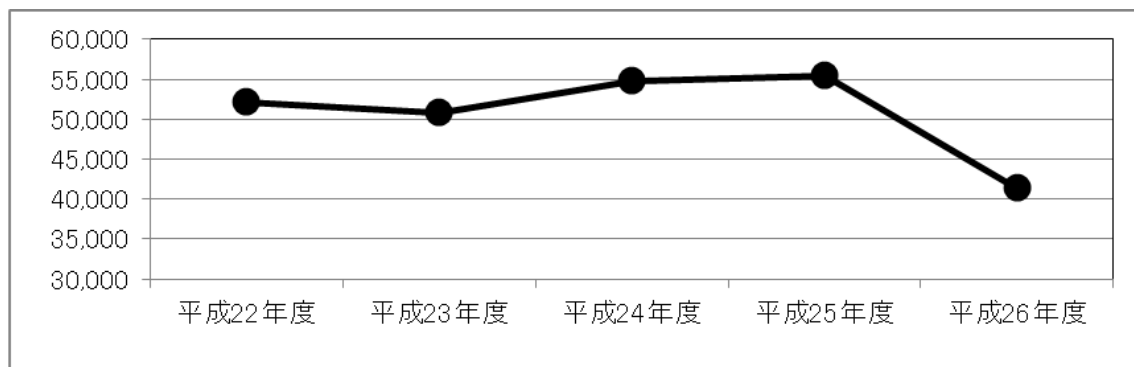
総入場者数は41,430人(1日平均約863人)で、前年度の55,477人(営業日数49日間、1日平均1,180人)と比べると14,047人(74.7%)の減少であった。

本年も特別企画として平日3時以降の入場料を半額にする「ゆ～涼み割引」を実施した。

ゆ～涼み割引の入場者は6,445人(1日平均222人)、お弁当プラン21団体で利用者は847人、アクアヌードル貸出は267件であった。

(単位：人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用者数	52,165	50,855	54,772	55,477	41,430
対前年比	120.8%	97.5%	107.7%	101.3%	74.7%



パットゴルフ場

本年度利用者数は5,062人で、前年度に比べて324人増加した。近年の減少傾向に歯止めをかける為に、毎週火曜日の「シニアデー」、毎週土曜午前中の「親子ペアデー」を継続して行なった。しかし、お客様への認知度はまだまだ低く、現時点では大きな増加につながっていない。27年度は積極的な広報活動による企画の浸透と月例大会開催などでリピーターの育成ははかり、入場者増加傾向を維持していく。

[パットゴルフ利用者数]

(単位：人)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
利用者数	5,733	5,578	5,487	4,738	5,062

その他屋外施設

多目的広場は、本館で多数の来館が予測されるイベントがあるときに、あらかじめ臨時駐車場として確保している。また、平成19年にJR九州ラグビー部と宗像市の協定が締結され、多目的広場がメインの練習会場となっている。その他の利用としては、少年サッカークラブの練習などがある。

芝生広場・サーキットトレーニングコースは、市内だけでなく近郊の幼稚園・小中学校から遠足などで来園されている。土・日・祝日には家族連れの来園が多い。

パットゴルフ場隣りにあるわんぱく広場は、平日においても幼児を連れた多くの親子連れにとって憩いの場となっている。

プレイ広場では、ラジコンやスケートボードなどの利用がおこなわれている。

公3「健康増進事業（健康増進企画・体験事業）」

健康づくり事業

利用者に対する健康づくり運動・レクリエーションスポーツ・生涯スポーツの普及に努めた。

健康づくり事業のメイン事業であるユリックスウエルネスクラブとスイミングスクールでは、会員・受講者の健康維持増進・健康支援を行うとともに、会員の獲得・継続・利用促進に力を注いだ。

■ ウエルネスクラブ

健康づくり・体力づくりの推進及び施設利用の促進を目的とした「ユリックスウエルネスクラブ」は、今年度末会員数が261人となり、前年度末の254人に比べて7人増加した。増加の要因はチラシ等の継続的な広報活動が考えられる。

ウエルネスクラブの会員増に向けての施策として、宗像市の特定保健指導・積極的支援アクアドームプログラム、動機付け支援アクアドームプログラムを実施した。

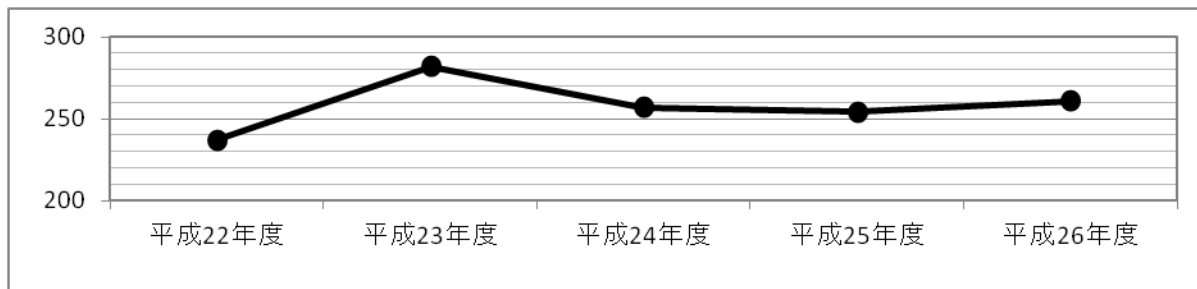
本年度の積極的支援初回指導が終了したのは12人、6ヶ月のプログラムが終了したのは2人であった。プログラムが終了していないのは3人で、平成27年度で引き続き積極的支援プログラムを継続する。また、動機付け支援（1回のみ）の指導は29人であった。

市検診の結果において、支援対象であり結果説明会に参加されなかった人へ電話勧奨を295件行った。特定健診結果相談会における「簡単な講義および運動指導」「アクアドーム積極的支援プログラム紹介」「アクアドームの施設紹介」を行う派遣指導を19件行った。

アクアドームは、ウエルネスクラブの会費が所得税の医療費控除対象になる、「指定運動療法施設」に認定されている。

（単位：人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
ウエルネスクラブ会員数	237	282	257	254	261
対前年比	107.2%	119.0%	91.1%	98.8%	102.8%



■ スイミングスクール

ウエルネスクラブと並ぶ健康づくり推進事業のスイミングスクールについては、週1回コースを21クラス、週2回コースを1クラス、3ヵ月を1期として年間3期行った。受講申込者数は1,050人と前年度1,088人に比べ38人（前年比96.5%）減少となった。

利用者の中には10年間受講されている人もおり、今後は利用者の高いレベルに対応できるようにインストラクターの指導力向上に向けた取り組みが重要となってくる。泳法指導以外の「らくらく膝腰運動」や「水中ウォーク」などの教室で、高齢者やプールが苦手な人にも気軽に健康づくりのできる教室展開を図っている。

スクール受講生対象の祝日スタジオレッスン「たま陸運動」～たまに陸上運動も良いですよ～を5回実施し24人参加の参加があった。

夏季ペアペアチャレンジ教室を7月、8月の計5回、土曜日9:00～10:00に実施し36人が参加した。スクール（ペアペアチャレンジ）からの参加者がほとんどであった。

夏季限定ウォーク&水中運動・チャレンジアクアを7月、8月の計8回、水曜日11:30～12:30に実施し223人が参加した。

夏休み初級水泳教室を7月、8月に8回（木曜日12:00～13:00）実施し41人が参加した。

■ スタジオプログラム

エアロビクスは11,919人、前年比99.5%（前年11,984人）、スタジオレッスンは6,735人、前年比94.7%（前年7,111人）、スタジオ合計は23,366人、前年比96.0%（前年24,330人）と人数は964人減少した。

祝日プログラムは年間10回開催し、221人が参加した。

ストレッチショートプログラムは、モーニングストレッチ3,628人、ランチストレッチ1,726人、ディナーストレッチ812人の合計6,166人の利用があった。

アクアドームのような総合フィットネス施設におけるエアロ・ダンスプログラムは水泳・ジムトレニングと同様に人気のある運動プログラムのひとつであり、女性層の取込みには欠かせないため、魅力ある教室を開催していきたい。

〔 栄養調理教室 〕

調理実習の「クッキングメイツ」は、年間256人の参加があった。前年の318人に比べ62人減少した。

コミュニティセンターでの調理教室「コミュ・クック」は、テーマ「夏バテ対策のための食事」、講義内容は「夏バテに効果的な栄養素について・夏バテで食欲が減退気味のときの調理工夫について講義」で、7月24日（木）（河東コミセン）10人の参加、8月6日（水）（自由ヶ丘コミセン）8人の参加であった。

小学生と保護者が一緒に行う「夏休み冬休み親子クッキング」を2回実施した。8月17日（日）「3種のピザ作り教室～小麦粉・米粉・余りごはん～」は7組16人、1月25日（日）「切ってびっくり！かわいい絵巻寿司をつくろう」は7組16人が参加した。

「男のクッキング」は、定員15人で運動と食事の両面からの健康づくりを考え、調理と栄養について学ぶ、男性のみの調理実習である。男性の多くは自炊の習慣がなく食事の面からの健康づくりに関心をもっていない人が多いが、自炊で自己の健康管理ができるようになることが必要と

考えられるため実施している。参加者は 60 代～80 代である。計 4 回実施し 50 人の参加であった。

〔 おばあちゃんの知恵袋 〕

日本古来の食の伝統を若い世代へ伝えることや、食と運動のつながりを伝え、利用促進へとつなげることを目的とした。

第 1 回：6 /6 (金)「蕎麦打ち教室」 17 人

第 2 回：10/1 (水)「ゆず胡椒作り教室」 36 人

スポーツイベント

南ゾーン各施設の利用促進とスポーツ・レクリエーションの振興のために各種のイベントを実施した。ほとんどが屋外イベントで天候などに左右されやすいが、中止ではなく延期で対応している。24 時間 EKIDEN や 12 時間耐久スイムは、アクアドームの利用者を中心としたボランティア団体が大会運営をするなど市民参加型のイベントとして根づいている。

〔 第 20 回 24 時間 EKIDEN 〕 (5 月 10 日～11 日)

実行委員会形式とし、ボランティア団体中心の大会運営となって好評であった。芝生広場の外周 (850m) を 1 チーム (5～30 人) で一本のタスキをリレーしながら、24 時間 (休憩自由) に走った距離を競う大会である。

有料参加は 74 チーム (1,585 人：一般、1,178 人 中・高校生、237 人 小学生、170 人) あり、前年度 84 チーム (1,488 人) より 10 チーム少なく、参加者 97 人の増加で開催した。

当日は、義捐金を募るイベントを行い、参加者が一体となり被災地を盛り上げることができた。大会を通じて、得た義捐金は「東日本大震災ふくしまこども寄付金」に寄付した。

〔 第 26 回 ユリックスカップ・テニストーナメント 〕 (10 月 26 日)

雨天の場合や参加者の負担などを考慮し、予選リーグと決勝トーナメントを 1 日で終了するためにペアの参加で開催した。54 ペア (男子 B クラス 20 ペア、C クラス 9 ペア、女子 B クラス 11 ペア、C クラス 14 ペア)、108 人で大会を実施した。前年度に比べ、24 ペア参加者が増加した。

〔 第 23 回 12 時間耐久スイム 〕 (11 月 15 日～16 日)

温水プールの営業時間外の夜間 (22:00～10:00) を使い開催している。温水プールが 7 コースで 35 チームしか参加できないという制限はあるものの、九州各地から根強いリピーターが受付初日から申込むような人気のある大会である。

本年度は 33 チーム (鉄腕の部 12 チーム、エンジョイの部 21 チーム) 237 人であった。前年度よりも 18 人少なかった。

アクアドームでもウエルネス会員やスイミングスクールの教室受講生がチームをつくって参加した。

[ウォーキングバスハイク]

仲間づくりをメインにした健康づくりセミナーと運動の実践そして食事と温泉を利用した休養という新しいタイプのトータル的な健康づくりの提案を行なうことで多くの市民に健康づくりを始めるきっかけとなることを目的とした。

第27回：日時：5月28日（水）目的地：八女市・星野村

参加者40人（男性：7人、女性：33人）

第28回：日時：10月15日（水）目的地：熊本県山鹿市・玉名市

参加者32人（男性：9人、女性：23人）

[グラウンドゴルフ]

平成26年10月23日（木）、宗像ユリックス芝生広場にて「第4回宗像ユリックスカップグラウンドゴルフ」を開催した。

参加費600円、144人定員で募集し、137人（男性：81人、女性：56人）の参加があった。

[ウォーキングイベント]

宗像市作成のウォーキングマップの認知度を上げ、ウォーキングの楽しさや効果を知っていただくために行った。

開催日：平成27年3月12日（木）9：00～12：30

参加費：210円（飲み物、保険料込）

参加人数：9人

ルート：ウォーキングマップV o 1 . 5 田島古道と鎮国寺（寒梅コース）

[ランニング練習会]

これからランニングを始めようとしている人、ランニング愛好者に対して、音楽を使用したピッチ走法、ランニングのための筋力トレーニング指導及び情報提供を行った。

参加者数は、計231人であった。昨年度の143人より88人参加者が多かった。さつき橋方面への20kmチャレンジランも行った。

法人運営「組織・運営体制、財政運営」

全般／指定管理業務について

本年度より第三期指定管理をスタートさせた。非公募で付託を受けた宗像市民の期待を裏切る事のない管理運営を続けてきた。

宗像ミアール音楽祭、アウトリーチ、ジュニアプラスなど宗像市が掲げた「音楽のあふれるまち」づくりに沿った活動を積極的に行った。また、南ゾーンを中心としたスポーツ・健康づくりについてもアクアドームの利用者が4年連続で20万人を超えるなど、一定の評価を得ていると考える。

宗像ユリックスは、26年目を迎え施設の老朽化が目立ってきている事から各設備の点検や修理に努め安全・安心なユリックスづくりを目指して日々の管理に努めた。

今後も宗像ユリックスの運営を通じ、宗像市の文化・スポーツ・健康づくりに貢献して行く。

運営体制

本年度の事務局人員体制としては、市派遣職員1名を返し、事業部嘱託職員1名を採用し、中核職員の異動を行なった。

労働基準法の改正に伴い嘱託・臨時職員の雇用条件が変更となった。今後の組織体制の検討をおこなっていく必要がある。

[職員数]

(単位：人)

	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末
財団職員	36	37	34	34	34
市派遣	2	2	2	2	1
プロパー	4	4	4	4	4
専任	3	3	3	4	5
嘱託	9	8	7	6	7
臨時	18	20	18	18	17
合計	35	36	37	34	34
対前年度比	-	102.9%	102.8%	91.9%	100.0%
対22年度比	-	102.9%	105.7%	97.1%	97.1%

- | | |
|----------|--------------------------------------|
| ・平成21年4月 | 第1期指定管理（4年目）、人事評価システム施行 |
| ・平成22年4月 | 第2期指定管理（1年目）、指定管理区域分割 |
| ・平成25年4月 | 第2期指定管理（4年目）、指定管理区域分割、
公益財団法人への移行 |
| ・平成26年4月 | 第3期指定管理（1年目） |

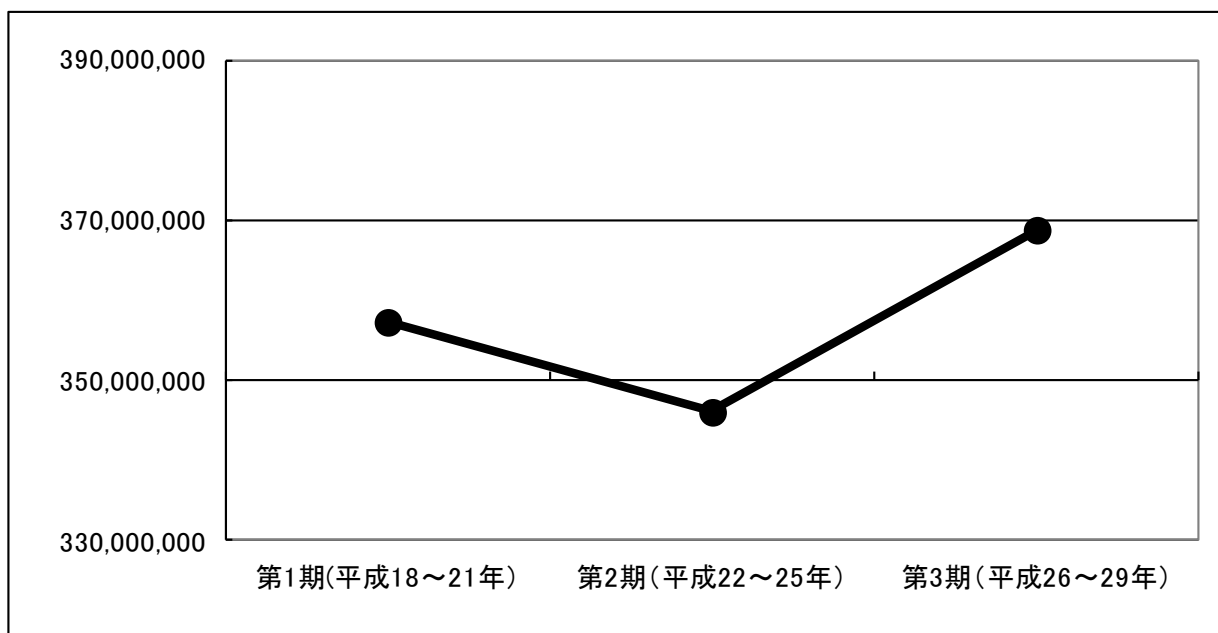
財政運営

本年度は、約 860 万円の黒字決算である。

収入においては、前年度との比較を考えると、指定管理料が約 2,300 万円の増額となった。利用料金については、本館は約 700 万円の増額となったが南ゾーンのアクアドーム、ゆ〜ゆ〜プールが約 500 万円の減収となった。入場料収益が約 1,300 万円、協賛金収益が約 250 万円、受託補助金が約 600 万円とそれぞれ減収となった。

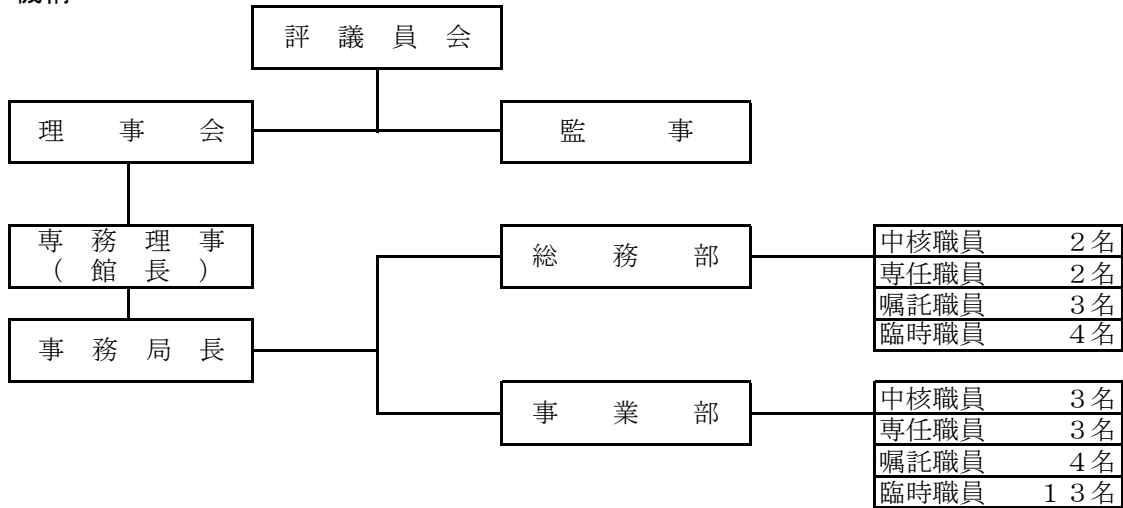
支出については、宗像ミアーレ音楽祭の関係で、委託費が約 2,600 万円、消耗品費約 250 万円、宣伝広告費約 200 万円などが大きく減額となった。給与手当及び賃金については、職員体制の見直しにより、約 400 万円減額となった。光熱水費は約 200 万円、修繕費については、監視カメラや園路灯などの機器の修理などが多く約 500 万円の増額となった。

	第1期 (平成18～21年)	第2期 (平成22～25年)	第3期 (平成26～29年)
指定管理料	357,308,000	346,083,000	368,828,000
対第1期	-	96.9%	103.2%



(平成27年3月31日現在)

機構



職員体制 (34名)

職名	中核職員	専任職員	嘱託職員	臨時職員
人数	5名	5名	7名	17名

※中核職員には宗像市からの派遣出向職員1名を含む

役員の構成

評議員	理事	監事
5名	7名	2名

職名	氏名	職名
評議員	菊川 律子	放送大学 福岡学習センター所長
評議員	蔵野 八郎	前 株式会社電気ビル代表取締役社長
評議員	寺尾 慎一	国立大学法人福岡教育大学学長
評議員	久芳 昭文	宗像市副市長
評議員	山下 恵美子	元宗像市教育委員

理事長	立部 祐道	僧侶 (鎮国寺名誉住職)
専務理事	松永 年生	宗像ユリックス館長
理事	福崎 常喜	宗像市市民協働・環境部長
理事	福本 義雄	宗像市社会福祉協議会会長 宗像地区事務組合水道事業運営委員会副会長
理事	大方 優子	九州産業大学商学部准教授
理事	池山 喜美子	元(社)全国消費生活相談員協会理事
理事	森 千鶴子	フリーライター、福岡教育大学非常勤講師

監事	長井 賢祐	元福岡県経営者協会専務理事
監事	山倉 昌俊	宗像市経営企画部 財政課長